

(4) 川魚に関する伝承等

ウグイ

- ・ 「ウグイのばばくい」, 「ウグイのくそくい」(食べて美味しくない)(楠地区)
- ・ 「稲の花を食べたモロコはうまい」(東庄内)

ヤリタナゴ

- ・ 「センペの腹にが」(野村・南野)

アユ

- ・ 「川原にアユをやきに行く」(夜に灯りを持って川にアユを取りに行くこと)(平野)

ナマズ

- ・ 「乳飲み子を持つ女性がナマズを食べると、乳がよく出る」と言い、食べさせた(内堀他)
- ・ 「ナマズは干して焼いて食べると精力剤になる」とされた(天神)

ウナギ

- ・ 「水鼻(へ行く)」(湯水期で川が干上がったところに夕立などの雨降り、その水が流れてくる先端部が泡立ち、そこにウナギが多くいて、それを取りに行くこと)(平野他)
- ・ 「夏に天気が続くと冷たい氷にウナギがのぼる」(西富田)

ヤツメウナギ

- ・ 「ヤツメウナギを食べると目が良くなる」(山辺他)

ドンコ

- ・ 「ドンコツを食べると口がうまく利けなくなる」と言い、食べなかった(北小松)

モクスガニ

- ・ 「月夜ガニはベそベそ」(月が満ちていくとモクスガニはエサがとれず、甲羅が柔らかくなる)(采女)

イシガメ

- ・ 「亀はマムシやヘビを食べる」と言い、亀を大切にしていた(和泉)
- ・ 「大きな亀には酒を飲ませ」(小野)
- ・ 「長いこと川で遊んどると、ドッチに尻抜かれるぞ」(各地)

イモリ

- ・ 「イモリの黒焼きほれぐすり」(亀田)

サンショウウオ

- ・ 腹の黒いサンショウウオがいて、「薬になる」と言い、焼いて干して煎じて飲んだりした(須賀)